

光政寺だより

樹 榮

第188号

編集・発行
〒720-0041
福山市寺町2-15
日蓮宗樹榮山
光政寺

TEL084-922-6207
メールアドレス
koshoji@way.ocn.ne.jp

お墓そうじの会
八力大明神例祭

9月10日(日)
そうじ 午前7時~
例祭 午前7時半~

秋のお彼岸法要

9月23日(土) 秋分の日) 午前10時~11時

コロナは五類になりましたが今も一方通行といまに焼香し塔婆を受けていただきます

暑さ寒さも彼岸まで

「危険な暑さ」「熱中症警戒アラート」「地球沸騰」...など、酷暑を表現する今までとは違う言葉を耳



にしていきます。「暑さ寒さも彼岸まで」は、今後死語になるかもしれません。3ヶ月予報では、暑さは10月まで続くそうです。「秋の彼岸」がやってきます。コロナ感染症は、五類

になりましたが、「コロナのため、今年は柵に出来ないでください」と連絡があり、調べると福山市で7月中旬をピークに増加していました。今回も念のため、一堂に会しての法要を行わず、すぐに昇堂・焼香していただきます。

卒塔婆供養

新規の方は

お早めに

卒塔婆供養は、卒塔婆(板塔婆)を年回忌法要やお彼岸、お盆などの時期に、お墓の後ろに立てることをいいます。

従来よりご依頼の方々は、お書きする塔婆の本数を書いた紙片を同封しています。

信行講座
10月21日(土)
ローズコム4階
14時~14時30分
いのちに合掌
光政寺副住職
下井泰晃
14時30分~16時
法華経解説

お彼岸法要

午前10時から11時の間、僧侶が交代で読経します。檀信徒の方々はこの間に参り下さい。焼香の後、読み上げ供養を終えた卒塔婆をお手渡し致します。

お子様、お孫様をお誘いいただき、ご家族おそろいでお祖師様、ご先祖さまに会いにお越しください。

護持会結成

日曜読誦会

昭和57年宗祖日蓮大聖人七百遠忌記念事業として、光政寺は「日曜読誦会」をスタートしました。案内のピラを見た7人の檀信徒と寺族で日曜日午前7時から30分間の読経と茶話会でした。

檀信徒研修道場

昭和59年10月、中四国9県の檀信徒が集う「檀信徒研修道場」が、福山市熊野町常國寺で開催され、日曜読誦会参加のA氏に出席をお願いしました。10人前後の小グループでの話し合い(法座)が行なわれ、その中で「護持会」が話題となり、岡山県の出席者から「光政寺の護持会は？」と質問されます。A氏は初めて聞く「護持会」に何も答えられなかったそうです。

護持会結成

日蓮宗宗憲と光政寺規則には「護持会」結成が明記してあり、総代さんに相談し、昭和61年10月の「護持会設立準備会(檀信徒総会)」を経て結成を決議しました。

郵便物や世話人さんの勧誘のおかげで予想を大幅に超える方々のご入会をいただきました。

「樹榮」創刊と団参

いただきました。

そのおかげで、護持会活動の裏付けができました。郵送代や印刷費を予算化し、昭和62年6月「光政寺だより『樹榮』」の創刊につながりました。さらに、第一回目の「身延山団体参拜(団参)」の計画を立てることができ、定員25名を大幅に上回る37名の参加を得ることができました。感謝でいっぱいです。

樹 榮

光政寺だより

発行 宗 寺 町
集 蓮 政 市
日 光 福 山
創 刊 号
22-6207

護持会結成

入会申込み口数二百口を突破

長年の懸案でした光政寺の護持会が、総代さん、世話人さんのご努力、ご協力のおかげで発足の運びとなり、四月一日より、世話人さんに入会のご案内のため檀家を訪問していただきました。その節は護持会の趣旨に深いご理解を賜り、ご協力のほどたいへんありがとうございました。

当初の事業計画では、百七十口 八十五万円の収入を見込んでおりましたが、五月二十日現在二百五十口と予想を大幅に越えるお申し込みをいただき、護持会長ともども、大変喜んでおります。これもひとえに、お檀家さんの光政寺を思っ下さる気持ち、また、信仰心のあらわれと敬意をあらわすところでございます。護持会のおかげで、この「光政寺だより 樹榮」も発行でき、光政寺や日蓮宗門の近況をお伝えできるとありがたいと思っております。「光政寺だより 樹榮」の創刊にひきつづき、身延団参、御会式厳修など、事業の執行にも精進したいと思います。